



**2021-2022年度主題**  
 国際会長 キム・サンチエ(KR)  
 “Heal the World with Love and Dignity”  
 アジア太平洋地域会長 大野 勉 (JP/神戸ポートクラブ)  
 “Think for the next generation”  
 東日本区理事 大久保知宏 (宇都宮クラブ)  
 「100年を超えて変革しよう」  
 湘南・沖縄部長 若木 一美 (横浜とつかクラブ)  
 「咲かそう 人の輪」  
 クラブ会長 辻 剛  
 「弱者に寄り添う愛と奉仕の実践」  
 スローガン：「生涯現役」で楽しいクラブライフを！

**2021-2022 クラブ役員**

会長	辻 剛
副会長	林 茂博
書記	鈴木 茂
会計	横田 孝久

**今月の聖句**

「わたしは門である。わたしを  
 通って入る者は救われる。  
 その人は、門を出入りして牧草  
 を見つける。わたしは良い羊飼  
 いである。良い羊飼いは羊のた  
 めに命を捨てる。」

ヨハネ10・9, 11

**5月本例会**

つづきクラブ5月例会  
 つづきクラブ、つるみクラブ、  
 横浜北YMCA 三者懇親会

日時 5月27日(金) 18:00～  
 場所「敦煌」(菊名)

《つづきクラブ5月本例会》

18:00開会

司会:今城高之、受付:今城宏子

《三者懇親会》

18:50～20:30

総合司会：鴨下純久

18:50 受付開始

19:00 挨拶

- 北YMCA 鴨下館長
- つづきクラブ 辻会長
- つるみクラブ 久保会長

19:10 乾杯 鈴木茂氏

～会食～

19:40 参加者紹介

20:15 感謝状贈呈

元北YMCA運営委員

大和堯子氏

20:20 閉会挨拶 茂木 信氏

記念撮影

20:30 閉会

**《巻頭メッセージ》**

**傷ついたものを包み、弱ったものを強くする**

相賀 昇

2月24日、ロシアによるウクライナの軍事侵攻が始まってから2か月半、この間私たちは日々伝わってくる凄惨な有様に怒りを覚え心痛めつつ、ときに無力な思いに苛まれております。紀元前6世紀の預言者エゼキエルは当時の宗教的指導者や政治的支配者をこのように批判しました。「災いた、自分自身を養うイスラエルの牧者たちは。…追われたものを



連れ戻さず、失われたものを探し求めず、かえって力づくで、苛酷に群れを支配した」(エゼキエル34・2-4)。イスラエルの牧者たちは民を治め導くために権力を与えられていたにもかかわらず、それを正しく用いず、かえって民を食い物にし、私腹を肥やすために群れを支配したのです。

そのような権力の濫用はいつの世にも起こるものです。まさに現代ロシアのプーチン大統領がそうではないでしょうか。しかし、いつの時代も神様は悪しき支配をそのままにはされません。「わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。」(エゼキエル34・15-16)。これこそ神様による世界統治のヴィジョンにほかなりません。それはどこまでも「傷ついたものを包み、弱ったものを強くする」という平和な世界、私たちに癒しと回復をもたらすものです。

人間の知恵や力や富、あるいは科学や政治・軍事力の力、そして経済的な富というのは確かに重大です。しかしそれらが世界を究極的に支配し、動かしているわけではありません。またそれらに世界と人間の運命を決めさせてはならないはずです。そうではなく、この世を創られた神様がおられ、生きて働いてこの世界を総べ治めておられる。そのことに思いを寄せながら、私たちはワイズやYMCAの使命を担うものとされているのではないでしょうか。

2022年もはや三分の一が過ぎて、世界はパンデミック、ウクライナ戦争、気候変動という大きな危機に直面しています。しかし、「わたしは良い羊飼い」と言われたキリストは、こう約束されました。「わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つけた」(ヨハネ10・9)。復活のキリストは私たちを罪と滅びの諸力から解放し、神様を信じ、その愛と恵みと感謝による交わりの中で喜びと希望をもって共に生きる道、すなわち救いの道を開いてくださいました。復活節からペンテコステに至る季節、5月は私たちつづきクラブ創立16周年を記念する月でもあります。私たちがいったい誰によって生かされているのか、そして誰の声によって今またこの世へと遣わされようとしているのか、そのことを心にとめながら励んでまいりたいと思います。(完)

## 《例会報告》

2022年4月度本例会報告

鴨下 純久 記

日時：2022年4月22日(金) 17:00～19:00

(対面・Zoom併用 ハイブリッド方式)

会場：田園都筑教会

出席者：相賀、今城T・H、岡田、鴨下、坂口、杉本、  
鈴木S・K、辻Ts・Ta、林、福島、横田

ゲスト：大野君枝様、堤ひろみ様、

ビジター：千葉裕子様 (計17名)

司会：今城宏子 受付・報告：鴨下純久

～議事次第～

1. 辻会長による開会点鐘に引き続き、ワイズソング・ワイズの信条を一同で唱和
2. 相賀チャプレンによる今月の聖句と祈禱  
(ペトロ手紙 I 1章3～4節)
3. ゲスト・ビジターの紹介  
辻会長より大野君枝さん、堤ひろみさん、千葉裕子さんの紹介があった
4. 会長の挨拶  
久々に対面での例会を実施できることの喜びと感謝が伝えられた。
5. 卓話 堤ひろみさん 「わたしとオルゴール物語」  
ガーデニング、ピアノ、イタリア、コーラスが大好きな堤ひろみさんから、オルゴールと出会ったきっかけやオルゴールの歴史や種類のお話をいただいた。ネットオークションで購入したものや友人からお譲りいただいたもの、最近ではメルカリで購入されたオルゴールをご自宅から持参

いただいた。シリンダーオルゴール、アップライトオルゴール、ディスクオルゴール、自動演奏楽器とからくりオルゴールなど、様々なオルゴールの思い出を語っていただきながら、みんなで音色を楽しんだ。堤さんの自宅にある「大きなアップライトのオルゴールを聞きに来てください。」との誘いを受けて卓話を終えた。

## 6. ハッピーバースデー

鈴木恭子さん(4/9)、福島佐世子さん(4/17)の誕生日をお祝いした。昨年の7月から対面での例会が実施できなかったため、該当する方へプレゼントを渡した。

## 7. 各種報告・連絡

「東北ヘルプ」へ石巻クラブとの合同例会出席者15名分の献金15,000円の精算を行った。  
届けられなかった資料の配布  
①理事通信、  
②「北ヘルプ」/川上牧師より、  
③アーモンドコミュニティのチラシ  
YMCAより2021年度維持会費未納の方へ納入のお願いがあった。

## 8. 行事予定

5月10日(火) 17:00～ 事務例会  
(都筑教会、Zoom/ハイブリッド)  
5月27日(金) 18:00～北Y/つづき/つるみ3者合同懇親会 会場 中華料理「敦煌」

## 9. 閉会点鐘 辻会長

(了)



今回の卓話は、講師の堤ひろみさんのオルゴールにかける熱い思いをお聞きし、ご持参いただいた珍しい様々なオルゴールやからくりを見せて頂き、美しい音色にうっとりするひと時となりました。  
堤さん、本当にありがとうございました。



## 《例会報告》

2022年5月 事務例会

書記 鈴木 茂 記

日時：2022年5月10日（火）17:00～19:20  
 場所：田園都筑教会 対面・Zoomのハイブリッド方式  
 出席者：今城H・T、岡田、坂口、鈴木S、辻Ta・Tu、  
 林、横田（対面9名）  
 鴨下、鈴木K（Zoom2名）（合計11名）

## 《議事次第》

## 1.開会点鐘と会長挨拶 辻 会長

## 【会長挨拶】

“Week4Waste”委員会のウルリック・ラウリドセン委員長（デンマーク・元ヨーロッパ地域会長）が、ごみ拾いプロジェクトを世界のワイズメンに呼びかけた案内文（2022年2月）に、「精神的な健康には、有意義な仲間との活動が一番の薬です」という言葉があった。私はこの言葉に感銘した。本日の事務例会は、この考え方をもって進めて行きたい。

## 2.協議事項

## 1) 湘南・沖縄部研修会の件

若木湘南・沖縄部長より次の要領による部・研修会の案内があった。これに対し、辻会長から出席者を確認したいとの提案があった。

2022年5月28日（土）10:00～12:00

横浜市舞岡地区センター（横浜YMCA指定管理施設）

## ・第1部 講演会「法人化で目指すこと」

日時：10:00～11:00、

講師：日本YMCA同盟総主事・田口 努氏

## ・第2部 指定管理施設見学

（11:00～12:00）

\*今回は対面のみでの研修会であること、且つ当日午後には横浜YMCAの会員総会が予定されていて、その準備担当と重なる者もいることから、確認された出席可能者はごく少数。

## 2) 東日本区大会の件

来る6月4-5日（土・日）にZoomで開催される予定の今期東日本区大会に関し、辻会長から参加者数を確認したいとの提案があった。

\*確認された参加者数は5名。

## 3) 三者合同懇親会の件

当クラブ・つるみクラブ、北YMCAの三者合同懇親会に関し、辻会長から先般鴨下館長、久保会長と打ち合わせを行ない、作成したプログラム案が提示された。

\*協議の結果、提案通り承認された。

## 4) 大野君枝さん入会の件

辻会長より、大野君枝さんの入会については4月事務例会での承認を踏まえ、「会員異動報告書」を区事務所に送付したので、確認願いたいとの提案があった。6月例会で入会式開催の予定。

\*大野君枝さんの入会が、提案通り確認された。

## 5) つるみクラブとのDBCの件

辻会長より、対面の事務例会で検討することになっていた標記の件につき、別紙に基づいて提案説明があり、クラブ活性化の見地から再度、協議検討したいとの提案があった。

\*協議の結果、近隣クラブ同士のDBC締結が部内・区内の他のクラブにも良い刺激となって拡がり、ワイズ全体の活性化につながるとの賛成意見があった反面、つるみクラブとは既に親しい交流関係にある現状において、さらにDBC契約を結ぶ意義が理解できないとの消極意見もあり、本件は次期・林会長執行部への継続審議とすることが確認された。

## 6) 4月度本例会SNS配信の不具合反省の件

辻会長より、4月の本例会にZoom参加したゲストの方から、画像は最初から見えず、音声も途中から聞こえなくなったので退室したとの連絡があったとして、その原因究明ならびに今後の対応を検討したいとの提案があった。

\*ウェブ担当の林 茂博さんより、当日の卓話者が持参されたパソコン機種がマックであり、当クラブで使用しているウィンドウズと接続できないことが直前になって判明し、急遽接続部品を探した経緯について報告があり、パソコン機種に関する事前の情報収集、準備不足に問題があったとの反省説明があった。

\*今後のウェブ担当体制の見直しなど今後の対策については、今しばらくハイブリッド開催の経験を踏まえた上で検討することを確認した。

## 3.報告事項

## ①クラブ

\*横田さん：都筑社協主催のボランティア・地域活動者向け講座「コロナ禍から活動のヒントをさぐる」・5月31日（火）10:00～12:00の報告。

## ② 湘南・沖縄部

\*辻会長：胡麻尻眞佐さん・辻 孝子さんが「ウクライナ難民少女への画材献品」活動に協力して、絵具等を横浜YMCAに届けた。 （次頁に続く）

(前頁より/ 5月度事務例会報告)

③ 東日本区

\* 辻会長：ワイズ・ナイトフォーラム第6回・6/25 (土) 20:00~22:00。

④YMCA 特になし

4. アピール

\* 今城宏子さん：5月18日(水) 13:30、夢カフェにおいてTKBによる「つばめの杜保育所」宛のお誕生日カード作りを行なう。

\* 横田さん：5月18日(水) 18:00、都筑区災ボラ協議会の年次総会。

5. 行事予定

・6/4(土)~6/5(日)：東日本区大会 (Zoom)

・6/7(火) 19:00~：第93回Y-Y's協議会、幹事・とつかクラブ

・6/14(火) 17:00~：事務例会 (@夢カフェ・ハイブリッド)

・6/24(金) 17:00~：本例会 (@かけはし都筑・ハイブリッド)

・6/25(土) 14:00~：第3回部評議会

6. 閉会点鐘

辻会長

北Y便り

北YMCA 副館長

太田 聡



の4月より横浜Y M C Aにまいりました太田聡 (おた さとし) と申します。

2002年に埼玉YMCAに入職した時の新人1年目と同じフレッシュな気持ちでこの1か月を終えたところです。埼玉でのお別れの挨拶では、「ドキドキよりワクワクが大きく楽しみです」と言いましたが、場所は違えど、同じミッションを共有するYMCAの文化、香りの漂う環境に大変居心地の良さを感じております。

現在は、埼玉県「小江戸」川越に住んでおりますが、高校までは神奈川の県北、津久井郡(現在の相模原市)の相模湖町という小さな町で育ちました。相模湖観光や山登り、ピクニックランドに訪れたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

家族は、障がい者入所施設職員の父と、元教員の母、4つ上の姉がおります。高校ではバスケットボール部に所属し、大学では社会福祉学を専攻しました。姉が海外留学をしていた影響から、異国の地で生活してみたいという気持ちがあり、1年間休学し、イギリスの障がい者施設でボランティア留学を経験しました。貴族のお屋敷が施設に

なっており、1人ひとりに部屋があり、日本の施設のイメージとは全く違う環境に驚きました。

大学卒業時、国際的な関わりが持てる社会福祉の仕事を探していたところ、学生課で埼玉YMCAの求人と出会いました。健康教育、野外教育、特別支援教育、国際語学教育、本部などを経験し、YMCAで「みつかる・つながる・よくなっていく」をまさに体験しながら今ここにいると感じています。

横浜北Y副館長、オルタナティブ事業部長というお役目をいただいておりますが、皆さまと共にYMCAライフを楽しみ、その魅力を一人でも多くの方に届けたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします!

家族：妻・娘(中3・中1)

趣味：ジャグリング、ロードバイク

今回の「北Y便り」は、この度北YMCAに新たに配属された太田 聡さん(副館長)の自己紹介を掲載しました。「元気」を絵に描いたような太田聡さんに大いに期待します。

(編集子)



## 《連載寄稿》

## 恥ずかしのワイン蘊蓄 ～8～

横田 孝久

コ ロナ禍連休が始まりました。次回の蘊蓄は如何にと家飲みしながら考えています。ワインはブドウの種類、産地、醸造家などによって様々です、だから人によって評価が異なります。だから蘊蓄なんです。ある意味ではしょうもない事です、自分が美味しいと感じ楽しく飲めばいい。

さて、2月から始まったウクライナへのロシアの侵攻は本当にこの世で起こる事かなのか、人間の愚かさにはうんざりです。一日も早く平和が訪れることを祈らざるをえません。

ところが、ここでひらめきました、以前に読んだワインの本で旧ソ連を含めた東欧・中央アジアのワインベルトを思い出したので寄稿することにしました。大きく三つのグループに分けられますが、生産量の順にならべると、第一のグループがモルダヴィア・ウクライナ・ロシア、次がアルメニア・アゼルバイジャン、三番目は中央アジアのウズベキスタン・カザフスタン・タジキスタンです。しかし生産量はそんなに多くないようです。いずれも小生は訪ねた事はありません。パリ等への出張途中で経由のモスクワ空港でウオッカ・マティニーと一杯の赤ワインを飲んだ程度です。そのうち何れかの月かのブリテンに中央ヨーロッパのチェコ（プラハ）やハンガリー（ブタペスト）やオーストリア（ウィーン）での体験はお話したいと考えています。



夕日に映えるウクライナのブドウ畑

さて、ウクライナはまさに旧ソ連の台所。豊富な農産物に恵まれ、ボルシチなどの郷土料理も有名です。そこにワインが加わるのですからウクライナ人にとってはこたえられません。ワインの産地はそれこそ今戦争の真ただ中といわれる南東部で、旧ソ連の「コート・ダジュール」と呼ばれている風光明媚な保養地のクリミア半島には優れた品種が多くあります。有名なニキタ植物園

から独立したワインの研究所がありクリミアワインの名声を支えています。シャルドネ、ピノ・ノワール、カベルネやアリゴテなどの品種が使用されています。第二次大戦末期、日本の運命を決めた連合国の三巨頭会議が行われたヤルタは中心都市ですが、その時もクリミアのワインが飲まれたかもしれません。

また、最近では毎日報道されているヘルソン、オデーサ（横浜市と姉妹都市）は白ワインが有名だそうです。小生は飲んだ経験はありません。

問題のロシアではどんなワインかなと云えばそんなに有名なワインはありません、とにもかくにもロシア人はウオッカです。ロシカという白ワインでドイツのリースリングなどを使ったものや赤ワインはクリムルビイと呼ばれ、カベルネとサペラヴィイから造られています。どうでしょうか。また、ロシアでは原料の確保が問題で、近隣諸国やイタリア、スペインなどから大量のワインを仕入れています。

スパークリングワインーロシアでは堂々と“シャンパン”を名乗っている一も同様に、世界中から原料を仕入れて独創的(?)な製法で泡立たせて作っているとの事。ロシアでは“シャンパン”はお祝いの席では欠かせないらしいです。こんなことを余り書いてみると、ロシアのワインは「余り・・・」と差別・偏見ととられかねません。ロシアは旧ソ連に属していた近隣諸国との相性もあまりよくないようですが、郷に入ったら郷に従って皆でわいわいやれれば楽しく美味しいワインに変身して、皆で平和で楽しい世界になれるのではないかと思いますし、ロシアが世界有数のワイン国になる可能性は十分あります。お互いに軍事で競うのではなくワインの飲み比べで覇を争う時代がくることを願ってやみません。

今月はこれくらいで。

007（ジェームス・ボンド/ロシアより愛をこめて）にあやかって、シェイクしない極ドライのウオッカ・マティニーが飲みたくなりました。お粗末でした。（2022.5）



モルダヴィアのワイン畑

